

技術概要書（様式）

技術分類	安全・防災 維持管理 環境 コスト ICT 品質		
技術名称	Riskma(水災害リスクマッピングシステム)	担当部署	九州支社 技術統括部
NETIS登録番号	-	担当者	武田 理
社名等	株式会社 建設技術研究所 九州支社	電話番号	092-714-2211
技術の概要	<p>1. 技術開発の背景及び契機</p> <p>従来の気象情報では、豪雨時などに雨量値のみを知らせるものでしたが、その雨による被害予想までは分かりませんでした。このため、業務で培った知見を基に、浸水リスク等に関する情報をリアルタイムで全国へ提供するサービスを2017年3月より開始いたしました。「RisKma」は、インターネットで誰でも閲覧できます。</p> <p>2. 技術の内容</p> <p><雨量予報></p> <ul style="list-style-type: none"> ・36時間先までの雨量分布予報です ・リアルタイムでの累加雨量分布を5分間隔で提供します ・気象庁の最新情報を組み合わせて作成します <p><内水リスク予測></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水路やマンホールから水が溢れる可能性のあるエリアをリアルタイムで表示します ・1時間以内程度の豪雨現象による内水浸水現象を対象とします ・気象庁高解像度降水ナウキャストおよび地毛モデルを組み合わせて、内水浸水の発生の恐れがあるエリアを解析・予測します <p><ゲリラ豪雨予想></p> <ul style="list-style-type: none"> ・予測が困難なゲリラ豪雨(局所的な集中豪雨)を、2～3時間前に予測します(関東・甲信・東海・北陸地方) ・気象庁が実施している最小サイズのメッシュよりもさらに小さい約1.5kmでのシミュレーションです ・名古屋大学宇宙地球環境研究所で開発された「雲解像モデルCReSS」を用いて、気象庁の3次元レーダー情報を時々刻々と取り込む予測システムです <p><自治体・法人向けサービス></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水災害リスクメール配信⇒内水氾濫リスク等の情報をメールで配信します ・水災害対策コンサルティング⇒豪雨・洪水・内水対策に対するコンサルティングを行います ・水災害関連データ提供⇒上記様々な情報を提供します <p>上記のサービスを、自治体が管理する中小河川に合わせて最適化する取組も行っております。</p> <p>3. 技術の効果</p> <p>強い豪雨になる前の段階で、豪雨を察知する事が出来るため、水防体制の早期構築とともに、避難の周知や災害対策のスピードアップにもつながります。</p> <p>4. 技術の適用範囲</p> <p>情報での提供のため、様々な分野のニーズに応じた対応が可能です。</p> <p>5. 活用実績</p> <p>全国で展開しております。</p>		

RisKmaとは？

日本初！雨がもたらす「**浸水の危険性**」を予測するシステムです
同じ雨量でも…



A地点は
浸水リスク低…



一方、B地点は
浸水リスク高！



Riskma なら！

洪水被害の起こる危険性が
高い地域を予測できます



浸水が起こってしまう前に
早期対策が立てられる！

いつでも・どこでも・誰でも見られます！

RisKma 一般公開中

<https://www.riskma.net>



内水 リスク マップ



「**内水氾濫***」の
可能性があるエリアを
**全国・250mメッシュ・
リアルタイムで60分先まで**
解析・予測

※内水氾濫：まちなかの水路やマンホールから
溢れた水による氾濫

浸水の可能性があるエリアを
危険度順に赤・黄・青（高～低）で表示

雨量 レーダー 36時間予報



36時間先までの雨量分布予報、
リアルタイムでの累加雨量分布を
提供（5分間隔で更新）

実績雨量・予測雨量を色別で表示



携帯でも
チェック
できるから
便利だね！

